

1. 科目名 (単位数)	心理的アセスメントに関する理論と実践 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP5187
2. 授業担当教員	後藤 進吾		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	心理アセスメントとは、心理臨床家の専門的な営為であるが、その定義は専門家個々によってさまざまである。しかしながら、心理アセスメントという営為に「面接法」「観察法」「心理検査法」が含まれることは心理の専門職に共通理解が得られていることである。本講義では、心理アセスメントが、専門的な行為として成立するために必要とされる知識等について理解を深めるものである。		
8. 学習目標	心理的アセスメントの中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。事例の検討を行うことによって、心理的アセスメントの基礎的な技術を習得することを目指す。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> 各心理検査のマニュアルは事前に読み込んでおくこと 授業内で扱う心理検査に関しては、大学学部時の教科書等で予め概要を復習しておくこと 		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特に指定しない 【参考書】 津川律子・篠竹利和(2010). シナリオで学ぶ医療現場の臨床心理検査 誠信書房 ※その他、事例など、必要に応じて題材を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 各心理検査の基本的な実施方法について理解している 刺激に対する反応から、その人が何を体験したのかについて、想像することができる 被検査者の反応から得た、自分の理解を表現すること・振り返ることができる 結果について文章にまとめることができる ○評定の方法 授業態度・授業への参加度 50% 心理的アセスメントに関するレポート 50%		
12. 受講生へのメッセージ	心理検査は手続きが決まっており、かつ解釈の方法にも一定の基準が存在するものである。		
13. オフィスアワー	初回授業にて提示する		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～3. テーマ	心理アセスメントの基礎について		
【学習の目標】	心理アセスメントにおける「面接法」「観察法」「心理検査法」について基本的な考え方を理解する。		
【学習の内容】	面接法・観察法・心理検査法をそれぞれ専門的行為に成り立たせる背景理論について学習する。		
【キーワード】	心理アセスメント・心理療法		
【学習の課題】	自身が専門性の拠り所とする心理療法や背景理論について検討できるか		
【参考文献】	津川律子・遠藤裕乃(2019).公認心理師の基礎と実践 14 心理的アセスメント.遠見書房		
4～5. テーマ	自己記入式の心理検査の読み方とまとめ方		
【学習の目標】	自己記入式の質問紙法と文章完成法 (SCT) の基本的な読み方とまとめ方について理解する。		
【学習の内容】	質問紙法の事例、文章完成法の実例から、その人らしさを検討する。		
【キーワード】	自己記入式の心理検査、文章完成法		
【学習の課題】	書かれていることを整理するだけでなく、その人らしさを思い描くことができるか。		
【参考 文献】	東京大学医学部心療内科 TEG 研究会 (編) (2006). 新版 TEG2 解説とエゴグラム・パターン 金子書房 佐野勝男・楨田仁 (1972). 精研式文章完成法テスト解説 (成人用) 金子書房 伊藤隆一 (2012). SCT(精研式文章完成法テスト)活用ガイド 金子書房		
6～10. テーマ	Wechsler 式 知能検査の読み方とポイント		
【学習の目標】	Wechsler 式 知能検査の基本的な読み方とポイントについて理解する。		
【学習の内容】	WAIS 等の事例から、その人らしさを検討する (事例 1 の解釈 2 回, 実施のポイント 1 回, 事例 2 の解釈 2 回の計 5 回を予定)		
【キーワード】	知能検査, WAIS, WISC, 知能, 知能指数, 発達障害		
【学習の課題】	能力や対処スタイルから、その人らしさや、その人の日常でのパフォーマンスを想像することができるか。		
【参考 文献】	藤田和弘ら(編著) (2011). 日本版 WAIS-III の解釈事例と臨床研究 D.P.フラナガン・A.S.カウフマン(2014). エッセンシャルズ WISC-IV による心理アセスメント 日本文化科学社 (WISCIV, WAISIVの実施採点マニュアル, 理論解釈マニュアル)		
11～13. テーマ	バウムテストの見方とポイント		
【学習の目標】	バウムテストの基本的な読み方とポイントについて理解する。		
【学習の内容】	バウムテストの実例から、その人らしさを検討する (バウムテストの目の付け所について 1 回, 解釈 1 回, 実施のポイント 1 回の計 3 回を予定)		
【キーワード】	バウムテスト 三枚法 自我状態		
【学習の課題】	バウムテストから得られる非常に多くの情報量から、その人の気持ちの動きを想像することができるか。		
【参考 文献】	阿部恵一郎 (2019) . バウムテスト Q&A 金剛出版 ルネ・ストラ (阿部恵一郎訳) (2020) . バウムテスト研究 いかにして統計的解釈にいたるか みすず書房		

14~15.テーマ	所見とフィードバック
【学習の目標】	心理検査の所見の書き方とフィードバックの仕方の基本について理解する。
【学習の内容】	心理検査所見とフィードバックのポイント，取り組む姿勢について検討する。
【キーワード】	検査所見，フィードバック
【学習の課題】	自分が捉えたその人らしさを正確にということだけでなく，その人が傷つかないように表現できるか，という点も重要である。
【参考 文献】	E. O. リヒテンバーガーら (2008). エッセンシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方 日本文化科学社 竹内 健児 (編) (2009). 事例でわかる心理検査の伝え方・活かし方 金剛出版 S. E. フィン (2014) 治療的アセスメントの理論と実践 金剛出版